



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 保土谷化学工業株式会社

コード番号 4112 URL <http://www.hodogaya.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 喜多野 利和

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 村上 康雄

TEL 03-5299-8019

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	24,615	△2.9	18	—	68	—	81	—
26年3月期第3四半期	25,344	△0.1	△268	—	△418	—	△564	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,846百万円 (44.7%) 26年3月期第3四半期 1,275百万円 (437.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	1.03	—
26年3月期第3四半期	△7.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	54,760	30,594	51.6
26年3月期	50,926	29,151	52.9

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 28,271百万円 26年3月期 26,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
27年3月期	—	2.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	2.3	600	—	150	—	100	—	1.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	84,137,261 株	26年3月期	84,137,261 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	5,065,659 株	26年3月期	5,054,476 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	79,078,249 株	26年3月期3Q	79,096,032 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策、金融政策により、景気回復への期待感が高まりました。しかし、消費税増税に伴う個人消費の低迷や、円安による原材料・燃料価格の高騰、急激な原油価格の下落など、各種の変動要因が重なり、景気は先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、円安効果もありましたが、色素材料事業や特殊化学品事業における事業売却による減収、アグロサイエンス事業における顧客の在庫調整の影響などにより、前年同期比7億29百万円減(2.9%減)の246億15百万円となりました。損益面では、売上高が減少したことと、円安による原材料・燃料価格の高騰等がありましたが、一層の経費節減、コストダウンの寄与があり、営業利益は、前年同期比2億86百万円改善(前期は2億68百万円の営業損失)の18百万円となりました。また、経常利益は、前年同期比4億86百万円改善(前期は4億18百万円の経常損失)の68百万円、四半期純利益は前年同期比6億45百万円改善(前期は5億64百万円の四半期純損失)の81百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

〔機能性色素セグメント〕

イメージング材料事業は、プリンター向け材料の需要が引き続き低迷し、減収となりました。色素材料事業は、文具並びにカラーフィルター用染料の需要が伸びましたが、前期末に繊維染色用染料を事業売却した影響や、食用色素で大手顧客の需要が減少したことに加え、デジタル家電向けアルミ着色用染料が低調であったことで、減収となりました。有機EL材料事業は、スマートフォン向け需要の減少、および競争激化の中、減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、61億31百万円となり、前年同期比6億22百万円(9.2%)の減収、となりました。

〔機能性樹脂セグメント〕

樹脂材料事業は、接着剤需要の伸び悩み、一部の製品の事業撤退の影響もありましたが、ウレタン原料の国内外の需要が好調に推移し、増収となりました。建築材料事業は、ウレタン系材料販売で、大手顧客の在庫調整により販売が減少しましたが、防水工事では、大型物件が、継続して獲得できたことで、前年同期並みとなりました。特殊化学品事業は、樹脂関連分野や医薬品・受託分野が堅調に推移しましたが、一部の製品で前期末に実施した事業売却の影響で、減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、93億96百万円となり、前年同期比2億27百万円(2.5%)の増収、となりました。

〔基礎化学品セグメント〕

過酸化水素は、主力の紙パルプ分野、および動物用医薬品の需要が堅調に推移したことにより、前年同期並みとなりました。過炭酸ナトリウムは、需要が伸び悩み、減収となりました。その他の工業薬品は、輸出向けが好調だったことにより、増収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、51億37百万円となり、前年同期比21百万円(0.4%)の増収、となりました。

〔アグロサイエンスセグメント〕

アグロサイエンス事業は、家庭園芸用除草剤で競争の激化と顧客の在庫調整の影響があり、減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、24億10百万円となり、前年同期比5億52百万円(18.6%)の減収、となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(12月末)における

資産合計は、547億60百万円となり、前連結会計年度末(3月末)比38億34百万円の増加となりました。

主な増減要因は、現金及び預金の増加30億80百万円、投資有価証券の増加9億42百万円、

受取手形及び売掛金の減少9億91百万円等であります。

負債合計は、241億65百万円となり、前連結会計年度末比23億90百万円の増加となりました。

主な増減要因は、支払手形及び買掛金の増加13億69百万円、短期・長期借入金の増加7億41百万円等
であります。

純資産合計は、305億94百万円となり、前連結会計年度末比14億43百万円の増加となりました。

主な増減要因は、その他有価証券評価差額金の増加6億90百万円、為替換算調整勘定の増加6億26百万円、

退職給付に係る調整累計額の増加2億28百万円、利益剰余金の減少2億28百万円等であります。

以上の結果、自己資本比率は51.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日に発表した平成27年3月期の業績予想に、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、保土谷(上海)貿易有限公司を新たに設立したため、
連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、

税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」と

いう。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。

以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に

掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、

退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、

割引率の決定方法を給付支払の見積り時期及び金額を反映した単一の加重平均割引率を

用いるよう変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、

当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を

利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が6百万円減少し、

利益剰余金が6百万円増加しております。

また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は

それぞれ2百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,326	7,407
受取手形及び売掛金	11,625	10,633
有価証券	—	600
商品及び製品	2,882	3,737
仕掛品	281	139
原材料及び貯蔵品	1,095	1,292
繰延税金資産	89	51
その他	543	533
貸倒引当金	△29	△17
流動資産合計	20,815	24,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,893	6,732
土地	11,245	11,249
その他(純額)	5,140	4,956
有形固定資産合計	23,279	22,938
無形固定資産		
のれん	1,006	712
その他	521	432
無形固定資産合計	1,528	1,144
投資その他の資産		
投資有価証券	4,892	5,834
長期貸付金	52	46
繰延税金資産	14	16
その他	562	651
貸倒引当金	△218	△250
投資その他の資産合計	5,303	6,298
固定資産合計	30,110	30,382
資産合計	50,926	54,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,626	5,995
短期借入金	6,206	5,978
未払法人税等	121	69
引当金	360	167
その他	1,109	1,440
流動負債合計	12,423	13,651
固定負債		
長期借入金	5,727	6,697
繰延税金負債	1,316	1,599
再評価に係る繰延税金負債	1,428	1,428
引当金	112	112
退職給付に係る負債	233	186
資産除去債務	54	58
その他	477	431
固定負債合計	9,351	10,514
負債合計	21,774	24,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	9,589	9,589
利益剰余金	3,770	3,542
自己株式	△1,695	△1,697
株主資本合計	22,861	22,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	520	1,211
土地再評価差額金	2,583	2,583
為替換算調整勘定	989	1,616
退職給付に係る調整累計額	△0	228
その他の包括利益累計額合計	4,093	5,640
新株予約権	51	—
少数株主持分	2,144	2,323
純資産合計	29,151	30,594
負債純資産合計	50,926	54,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	25,344	24,615
売上原価	17,697	17,345
売上総利益	7,647	7,269
販売費及び一般管理費	7,915	7,250
営業利益又は営業損失(△)	△268	18
営業外収益		
受取利息	26	26
受取配当金	96	86
為替差益	115	254
固定資産賃貸料	49	49
助成金収入	—	48
雑収入	68	45
営業外収益合計	357	509
営業外費用		
支払利息	126	111
退職給付費用	230	230
雑損失	150	117
営業外費用合計	507	459
経常利益又は経常損失(△)	△418	68
特別利益		
固定資産売却益	6	12
投資有価証券売却益	12	87
新株予約権戻入益	40	—
補助金収入	14	17
受取補償金	151	5
特別利益合計	227	123
特別損失		
固定資産除却損	36	2
ゴルフ会員権評価損	15	—
その他	0	—
特別損失合計	52	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△243	189
法人税等	197	130
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△441	59
少数株主利益又は少数株主損失(△)	123	△22
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△564	81

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△441	59
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	664	690
繰延ヘッジ損益	7	—
為替換算調整勘定	1,044	867
退職給付に係る調整額	—	228
その他の包括利益合計	1,716	1,787
四半期包括利益	1,275	1,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	743	1,627
少数株主に係る四半期包括利益	532	218

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△243	189
減価償却費	1,222	1,192
のれん償却額	454	388
引当金の増減額(△は減少)	△13	△179
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	187
受取利息及び受取配当金	△123	△112
支払利息	126	111
為替差損益(△は益)	△26	△63
有形固定資産売却損益(△は益)	△5	△11
固定資産除却損	17	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△12	△87
ゴルフ会員権評価損	15	—
受取補償金	△151	△5
売上債権の増減額(△は増加)	1,346	1,087
たな卸資産の増減額(△は増加)	△313	△818
仕入債務の増減額(△は減少)	775	1,212
その他の資産・負債の増減額	162	△1
未払消費税等の増減額(△は減少)	△54	33
その他	△55	△23
小計	3,121	3,100
利息及び配当金の受取額	125	112
利息の支払額	△127	△108
補償金の受取額	151	5
損害賠償金の支払額	△10	—
法人税等の支払額	△455	△223
法人税等の還付額	65	175
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,870	3,062
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△76	△170
定期預金の払戻による収入	66	118
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,438	△227
有形及び無形固定資産の売却による収入	42	28
投資有価証券の取得による支出	△837	△1
投資有価証券の売却による収入	21	216
関係会社株式の取得による支出	△70	△97
貸付けによる支出	△31	△5
貸付金の回収による収入	26	29
差入保証金の差入による支出	△63	△67
差入保証金の回収による収入	32	16
その他	△3	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,330	△162

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△144	△50
長期借入れによる収入	2,430	1,950
長期借入金の返済による支出	△1,620	△1,158
配当金の支払額	△157	△179
少数株主への配当金の支払額	△5	△40
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△3	△2
リース債務の返済による支出	△22	△23
その他	—	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	477	423
現金及び現金同等物に係る換算差額	255	285
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	272	3,609
現金及び現金同等物の期首残高	5,321	4,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,594	7,799

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロ サイエンス	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	6,753	9,169	5,116	2,962	24,001	1,343	25,344	—	25,344
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	119	114	276	—	510	921	1,432	△1,432	—
計	6,872	9,284	5,393	2,962	24,512	2,265	26,777	△1,432	25,344
セグメント利益又は損失(△)	△807	287	127	△174	△567	285	△281	13	△268

(注1) 各セグメントの主な製品

(1)機能性色素・・・有機EL材料、トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、各種染料等

(2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、一般化学工業用基礎原料、
ウレタン系及びセメント系各種建築・土木用材料等

(3)基礎化学品・・・過酸化水素等

(4)アグロサイエンス・・・農薬原体・製剤等

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、研究受託業務等を含んでおります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。

(注4) セグメント利益の調整額13百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機能性色素」セグメントにおいて、海外連結子会社であるSFC Co., Ltd.の株式を、平成25年12月に一部追加取得したことにより、のれんが発生しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、41百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロ サイエンス	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	6,131	9,396	5,137	2,410	23,075	1,539	24,615	—	24,615
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	118	118	235	—	472	1,050	1,522	△1,522	—
計	6,249	9,515	5,373	2,410	23,548	2,589	26,137	△1,522	24,615
セグメント利益又は損失(△)	△840	381	166	△47	△340	359	18	△0	18

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・有機EL材料、トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、各種染料等
- (2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、一般化学工業用基礎原料、ウレタン系及びセメント系各種建築・土木用材料等
- (3)基礎化学品・・・過酸化水素等
- (4)アグロサイエンス・・・農薬原体・製剤等

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、研究受託業務等を含んでおります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社は、第1四半期連結会計期間より基礎化学品セグメントに属していたカルオキサイド事業をアグロサイエンスセグメントに移管しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報につきましては、セグメント区分変更後の金額に置き換えて表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。